



六中だより

学力を保障し、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくり

令和3年7月1日

7月号

新座市立第六中学校

『夏空に向かって』

— あかるく・素直に・粘り強く —

校長 田中 悟

木々の枝先が伸び、重なる青葉が風を受け、緑の大布のようにそよんでいます。

梅雨の時期、地域・保護者の皆様には、登下校時の安全指導に多大なるお力添えをいただいておりますこと、感謝申し上げます。

このところ、梅雨の合間の好天に恵まれ、プールからは生徒たちの歓声が聞こえてきます。青空がまぶしい季節になり、1学期もまとめの時期を迎えました。

学校総合体育大会朝霞地区大会

梅雨空が心配される中、6月20日（日）から学校総合体育大会地区大会が朝霞班内各会場で開催されました。

放送による朝会では、今大会を最後に部活動を引退する3年生、活動を引き継ぐ2年生、1年生に向けて、「優秀な選手であるよりも誠実な生徒であれ」の言葉とともにエールを送りました。

戒めたいことは「試合に勝ちながらも相手に負けてしまうこと」であり、そこには目に見えない誠実さであるとか正直さであるとか、フェアプレーの観点も存在していくと考えられます。

六中生は雨でぬかるんだ会場整備においても、爽やかに輝かしい汗を流していたという報告を受けました。県大会出場が決定された部活、3年生が引退し、1・2年生で活動していく部活、一生懸命に活動された部員の皆さん、それぞれが「次の目標」に向かい新たなスタートを切っていくことを願います。

今回の大会では新型コロナウイルス感染症予防対策として、2週間前からの健康観察をはじめ、参加同意書の提出や観戦制限等の措置がとられました。

様々な制約の中で実施された大会でありました。保護者の皆様におかれましても、部活動に対する日頃よりの応援、ご支援ご協力のほど、誠にありがとうございました。

「通知表」が変わります

おおよそ10年に1度改訂されてきた「新学習指導要領」の完全実施により、「指導要録」も形式が変わりました。

文部科学省は「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」を平成31年3月に出し、埼玉県においては令和3年3月に「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」が県教育委員会より出されました。

学習評価の主な改善点としては、(1)各教科等の目標及び内容を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理した新学習指導要領の下での指導と評価の一体化を推進する観点から、観点別学習状況の評価の観点についても、これらの資質・能力に関わる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示し、設置者において、これに基づく適切な観点を設定することとされました。具体的には「各教科の学習の記録」において、従来は教科ごとに5観点～4観点であったものが「全教科3観点」となり、3観点の内訳は、①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に学習に取り組む態度となっております。

これらのことに伴い、中学校の「通知表」の中身もリニューアルされることとなりました。具体的には、「総合的な学習の時間」及び「特別の教科 道徳」においては年間を通して評価を継続して積み重ね学年末に記述式で評価すること、「特別活動の記録」の部分は各学期ごとに具体的な事実を箇条書きとしていき、「総合所見」(従来の「通信欄」)は学年末に記述させていただくこととなりますこと、あらかじめお知らせいたします。

よろしく願いいたします。